

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年02月08日

計画の名称	まとまりのあるまちづくりに向けた公共交通利用における利便性の向上と安心・安全な環境の整備												
計画の期間	令和05年度 ~ 令和09年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	仙台市												
計画の目標	駅と自由通路の移転及び交通広場などの整備を行い、誰もが駅を利用しやすい環境を創出するとともに、駅利用における利便性の向上を図ることで日常の移動手段を自家用車から鉄道利用へと転換することを目指す。 また、自由通路を整備し、歩行者の安全な移動経路を確保することで安心できる生活環境の向上を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,600	A	2,600	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R5当初)	中間目標値	最終目標値 (R9末)
1	福田町駅と自由通路の移転及び交通広場などを整備し、駅の一日平均乗降者数の増加を図る。 R2一日平均乗降者数6,500人/日 < R11一日平均乗降者数8,000人/日	6500人/日	人/日	6500人/日
2	歩行者の安全な移動経路を確保し、安心できる生活環境を創出することにより福田町駅周辺の居住者の維持(増加)を図る。 R2周辺人口15,400人 = R9周辺人口15,400人	15400人	人	15400人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	仙台市	直接	仙台市	-	-	駅周辺施設整備	自由通路、エレベーター、交通広場、駐輪場	仙台市						1,684	1.2	-
	A13-002	都市交通	一般	仙台市	間接	東日本旅客鉄道(株)	-	-	駅移設整備	鉄道施設整備	仙台市						916		-
											小計						2,600		
											合計							2,600	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	20				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	20				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	20				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： まとまりのあるまちづくりに向けた公共交通利用における利便性の向上と安心・安全な環境の整備

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合 1) 計画の目標が「仙台市総合計画」と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合 2) 計画の目標が「仙台市都市計画マスタープラン」と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合 3) 計画の目標が「せんだい都市交通プラン」と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備事業の目標と定量的指標の整合性 1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性がある。 1) 定量的指標の明瞭性が確保されえいる。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性 2) 住民説明会などを開催しながら、地元との合意形成に向け計画策定を進めている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 1) 地元町内会等より駅や駅周辺の利便性向上について要望を受けており、機運がある。	○